

April Newsletter

College for International Cooperation and Development



Dear friends and future volunteers!

イギリス・東ヨークシャーには春が訪れ、CICD にもイギリスの春の訪れを見てとることができます。鳥たちの囀りや、花々が咲き始め、CICD の敷地内が日増しに色づいていく光景を楽しむことができます。また、空気は刈りきられたばかりの新鮮な草の匂いでいっぱい、トラクター（草刈り機）の良い雑音を耳にすることができます—これらは、イギリス・CICD にも春が訪れたとすることができるでしょう。



今回のニュースレターは、国連のミレニアム開発目標（MDG s）について紹介します。

ミレニアム開発目標は、2000年9月に全ての国連加盟国によって採択されました。

世界の多くの人々は、いまだに貧困をはじめ、教育、疾病やジェンダーなど、数多くの問題に悩まされています。そこで、特にこれら数々の問題の状況下にある開発途上国において、西洋諸国を中心とする世界各国が、その問題解決に向けて取り組んでいくために設定されたのが、この「ミレニアム開発目標（MDG s）」です。

ミレニアム開発目標は、具体的な8つの目標、18つのターゲットと48の指標から構成されています。これらには目標となる明確な数値が設定され、2015年までに、この数値目標に達成することが定められています。目標の達成に関しては、多くの積極的／消極的な見解があります。しかし、たとえ私たちが目標に達成することができなくても、私たちには、多くの人々の生活水準の向上／改善に取り組む必要があることを忘れてはなりません。

Humana People to People の開発途上国におけるプロジェクトは、異なる方法でミレニアム開発目標の8つの目標に取り組む活動を行っています。



1. 極度の貧困と飢餓の撲滅

アフリカにおける私たちの最初の活動は、難民キャンプのためにパンを作り、栄養価の高いビスケットの寄付に関わったのがはじまりです。

しかし、私たちは、そのとき、単に食料を提供するのが支援活動でないとわかりました。私たちは、家族とコミュニティの人々が、持続可能な食糧生産を保てるために、彼らが自分たち自身で管理することができるように、その方法を教える必要があります。

Humana には、貧困と飢餓に取り組むために、コミュニティと一緒にプロジェクトで活動する「草の根レベル」の長い活動実績があります。

例えば、Humana の農業プロジェクト (Farmers Club)は、農民たちとその家族に、農地の手入れの仕方を教えます。同様に、チャイルド・エイドプロジェクトでは、両親が子どもをサポートすることができるように、家族の経済を強化する活動にも重点を置いています。



2. 初等教育普及の達成

私たちの多くの国では、全ての子供が初等教育を受ける義務がある政策を採っています。しかし、開発途上国の多くの国では、両親の病気や農業などの重作業の影響で、子供たちが家族から支援を受けることが困難な状況におちいる問題がたくさんあります。特に、多くの開発途上国の農村地帯の問題の1つに、資格のある教員が不足していることがあげられます。そこで、Humana は21の教員養成学校のプロジェクトを運営しています。毎年2,000人の生徒が卒業し、現地の農村地帯で、小学校の先生として活躍しています。

3. ジェンダー平等の推進と女性の地位向上

世界には読み書きのできない成人が、約8億7600万人います。このうちの3分の2は、女性です。資源が不足しているとき、女性と少女が取り残されることは、しばしば見られる光景です。しかし、コミュニティの女性を教育して、公的な権限を与えると、大きな利益があります。読み書きができる母親は、情報にアクセスすることができて、彼女の子供たちの学習過程を助けることができます。

Humana では、インドにおいて Grameen 銀行活動を行い、コミュニティの女性が行う収入創出活動に対して、小さなローンを支払い、その活動を支援しています。



4. 乳幼児死亡率の削減

毎年、約1100万人の子供たちが、5歳になる前に、治療可能な病気によって死亡します。開発途上国における幼児死の20%は、予防できる急性呼吸器感染症に起因します。

Humana のチャイルド・エイドプロジェクトは、これらの問題に対処するために、政府とユニセフの要請に応じて始まりました。プロジェクトは、コミュニティで、一般的な健康問題を支援する活動を行っています。それと同時に、地域のキャンペーンに参加し、母親に予防接種やビタミンAのサプリメント、授乳に関する重要性に気づいてもらえる積極的なアピール

も行っています。2006年、初めて、5歳未満の乳児死亡率の数が、1000万人以下に減少しました。これは1960年以来の、大きな進歩です。そのとき、毎年、5歳未満の約2000万人の子供たちが亡くなっていました。

5. 妊産婦の健康の改善

開発途上国では、58%の女性が、訓練された医師または助産婦の兼ね合いの下、出産します。そして、80%以上の出産は、緊急産婦人科の療養所がない地域で起こります。これは、南部アフリカでは、先進国よりも、女性が出産で亡くなる割合が高いことを意味しています。

多くの場合、母親の死亡率は、教育や簡単な計測を通して減少することができます。Humanaのプロジェクトでは、しばしば、地方自治体と一緒に、出産前後のケア・サービスへの参加の向上をはかり、必要とされるコミュニティの助産婦を訓練しています。



6. HIV/AIDS、マラリア、結核などの疾病の蔓延防止

HumanaのHopeプロジェクトは、HIV/AIDSの蔓延の問題に対処するために、始まりました。プロジェクトの目標は、HIV/AIDSの基本的知識を理解し、蔓延の問題に対して何らかの行動を起こすために、コミュニティを動員することです。現在、ほとんどのHumanaのプロジェクトでは、HIVの広がりを防ぐための活動も行っています。Humanaの最近の革新の1つに、TCE (Total Control of the Epidemic) プロジェクトがあります。TCEは、コミュニティにおいて、彼ら自身が自分たちでHIVの広がりを止めることができることを目標としています。

マラリアと結核は、全てのHumanaプロジェクトの問題でもあります。Humanaでは、情報の伝達から、蚊帳を配布するなどの実用的な対応も行います。

7. 持続可能な環境の確保

Humanaの初期のプロジェクトは、チャイルド・エイドと植林活動プロジェクトでした。私たちは、持続可能な環境を維持することの重要性と、現地の人々が彼ら自身で生活水準を改善することができることの重要性を理解しました。Humanaのプロジェクトは、コミュニティ開発に全体的なアプローチを強く置いて、常に環境への配慮を促しています。目標には、持続可能で安全な飲料水へのアクセスがない人々の数を半減させることも含まれています。



8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

これらが、現在、Humanaが活動していることです。余剰（お金、知識、その他）がある私たちから、困っている人々へそれらを提供すること。私たちHumanaのプロジェクト目標は、現地の人々が自分で行うことができる能力を築く手助けをするために、コミュニティと一緒に活動します。そうすれば、私たちのプロジェクトが終了した後でも、彼らは自分たちで引き続いて活動を行うことができます。このようにして、彼らの生活の中で、持続可能な活動を創ることができるのです。

※Humana People to Peopleのプロジェクトの詳細については、以下をご参照ください。

アフリカ/Humana People to People 公式HP (英語)

[【www.humana.org/】](http://www.humana.org/)

インド/Humana People to People 公式HP (英語)

[【www.humana-india.org/】](http://www.humana-india.org/)

Humana People to People/各プロジェクト概要 (日本語)

[【http://cicdvolunteer-japan.org.uk/session2.html】](http://cicdvolunteer-japan.org.uk/session2.html)



国連ミレニアム開発目標

「私は、経済学者です。私は、1人当たりの国民所得について考えることを教えられました。しかし、多くの人々にとって、それは十分に具体的なものではありません。貴方が開発を語る時、それは何についてですか？彼らが出産するとき、母親が死なないこと、子供たちが最初の数年を生きていること、全ての子供が小学校に通うこと、人々がきれいな水にアクセスできること、これらについて、貴方には目的を発展に導く具体的な方法があります。

事務総長が私を候補者に指名し、私がこの仕事に就任したとき、私は世界中の生徒たちからEメールを受け取りました。

そのEメールには、「あなたがミレニアム開発目標のために働くことになることは素晴らしいです。」と書かれていました。私は、自分がEメールを受けとったと思いません。「1人当たりの国民所得を4%増加させて下さい。」あなたは、それを確かにするための展望が必要です。

UNDP Administrator Kemal Dervis

The 5th Annual Global Philanthropy Forum Conference, Washington DC, 4 April 2006.

CICD～ビルディング・ウィークエンド～

CICD や他の DRH スクールには、毎月 1 回、恒例の「ビルディング・ウィークエンド」と呼ばれる、特別活動があります。この特別活動では、学生とスタッフが一緒になって、建物のペンキを塗り直したり、壊れたものを修理したり、ガーデニングをしたりします。

4月のビルディング・ウィークエンドでは、「スクール・ビルディング」と、「ダイニング・ホール」を中心に取組みました。スクール・ビルディングには、学生たちの教室や、教員のオフィスがあり、CICD の生活の中心的な場所です。ダイニング・ホールでは、みんなが食事をとり、談話をし、時には催しものなされる場所です。ついこの間、この 2 つの建物の合計 57 の窓が、スタッフと学生によって、新しい窓に取り換えられました。



4月のビルディング・ウィークエンドでは、この 2 つの建物のペンキを塗り直し、インターネットケーブルや家具を配置しなおし、全てをきれいに掃除しました。

この活動は、学生が Development Instructor として、アフリカ/インドでボランティア活動をするためのよい練習となります。

大工仕事や壁と天井のペンキ塗り、トイレや排水のつまりの修理、レンガ仕事やしっくい塗りなど、これら全ての作業は、貴方がアフリカ/インドのプロジェクトに派遣されたとき、貴方自身がリーダーシップを執って現地の人々としなければならない活動です。

これと同様に、このような特別活動の計画/予算を立て、準備し、運営して他の人々をまとめていくスキルも、貴方がアフリカ/インドで、ボランティア活動を行うと



きに必要不可欠なスキルです。

また、これらの特別活動をチームメイトと一緒に進行していく中で、異なる人々との共同作業の進め方、コミュニケーションの取り方を養うことができます。そうした過程で、学生とスタッフが一緒になって CICD を改善／向上していくことは、何よりも面白みがあるといえるでしょう。

ビルディング・ウィークエンドが終了した後は、活動に参加した全てのスタッフと学生と一緒に、手作りケーキとコーヒー／ティーを楽しむのが恒例です。



**College for International Co-operation and Development
(CICD)**
@ Winstead Hall, Patrington
Hull, HU12 0NP
England
Email: cicd05@yahoo.co.jp

Contact Details:
Tel: +44 (0)7813 854 298
+44 (0)1964 631 826
Fax: +44 (0)1964 631 695
Websites:
www.cicdvolunteer-japan.org.uk
(日本語公式HP)